

会 議 録

平成23年6月30日調製

審議会等名	平成23年度 第1回 社会教育委員会議及び公民館運営審議会		
公開の別	全 部 公 開		
開催日時	平成23年6月3日（金） 午後2時～3時52分		
開催場所	三条中央公民館 大集会室	傍聴者	なし
		報道機関	三條新聞社
出席者氏名	委員 小林斉子委員（議長） 阿部涼子委員（副議長） 小野島臣儀委員 （13人） 桑原 理委員 今井久美子委員 五十嵐公江委員 五十嵐成子委員 小杉武久委員 米山文子委員 弥田正蔵委員 渡邊秀雄委員 阿久津文雄委員 杉野真司委員 （欠席者） 田中 茂委員 安藤正之委員		
	職員 宗村市民部長 金子生涯学習課長兼中央公民館長兼東公民館長 太向図書館長 （14人） 久住子育て支援課長 弥久保青少年育成センター長 坂井嵐南公民館長 藤崎井栗公民館長 鈴木本成寺公民館長 大坂大崎公民館長 石田大島公民館長 高波栄公民館長 坂井下田公民館長 長橋生涯学習課課長補佐兼中央公民館館長補佐 小林生涯学習推進係長		
議 題	（1）平成23年度生涯学習事業等の概要について		
	（2）委員の推薦について		
	・図書館協議会委員 ・青少年育成センター運営委員		
	（3）中越地区社会教育委員連絡協議会代議員及び新潟県社会教育委員連絡協議会理事の推薦について		
	（4）社会教育団体等の補助金について		
	（5）社会教育委員・公民館運営審議会委員の研修について		
（6）その他			
会議内容	別紙のとおり		

金子生涯学習課長	<p>本日の出席予定の委員さん13名全部がお揃いですので、これより平成23年度第1回社会教育委員会議及び公民館運営審議会を開催させていただきます。初めに宗村市民部長よりご挨拶を申し上げます。</p>
宗村市民部長	<p>本日はご多用のところご出席いただきありがとうございました。</p> <p>委員の皆様方には、いろんな立場の中で市政全般に渡り、ご理解とご協力をいただき、この場を借りて厚く御礼申し上げます。今回、皆様方には二つの委員を兼任という形の中で、2年間の任期でお願い申し上げます。よろしくお願いたします。</p> <p>今までは、二つの組織を別々に設置して委員さんを選任し、それぞれの会の中で運営審議をいただいていたのですが、昨年度、市の経営改革本部会議における生涯学習課業務改善の幾つかの検討事項の中で、生涯学習課と中央公民館の統合、今ほど申し上げますふたつの組織の委員の兼任、その他いくつかの課題があつて検討がなされたところです。</p> <p>その結果、二つの組織の委員さんは兼任でお願いするという結論が出されたところでございます。その理由として、ひとつには、審議する内容が両方の組織とも社会教育と生涯学習に関していることから、公民館運営審議会につきましては、もっぱら社会教育の中核であり、実践の場である公民館運営の具体的な事業の部分の特化した中での審議、社会教育委員会議においては、図書館・青少年育成なども含めた社会教育全体的視野に立っての審議をいただいていたところです。それぞれの組織の中で、別々の考え方で三条市の社会教育や生涯学習を進めるより、ひとつの中での共通した考え・組織の中で意見を集約していった方がよいのではないかという要因がございます。</p> <p>そして、それぞれが定員15名、推薦母体も同じ、県内他市においても兼任としているところが多いという理由で、今年度からこのような形で運営させていただくことになりましたのでご理解いただきたいと思います。</p> <p>兼任となると、委員さんの中にはどのような立場で、どのような内容まで意見を言えばよいのか戸惑いもあろうかと思ひます。後ほど金子課長のほうから皆様方の役割について説明させていただきますが、三条市の社会教育、生涯学習の推進に関し、相対的に、或いは公民館の事業まで幅広くご意見をいただくとともに、必要に応じて計画の策定、諮問に対する答申をお願いできればと考えております。</p> <p>生涯学習課と中央公民館は今年の秋を目途に中央公民館へ移転統合することにしてあります。この移転統合のねらいとしては、市民の皆様が中央公民館に来れば、「生涯学習や文化の情報が全てわかる、情報が得られる場」にしてゆきたい。生涯学習課は、社会教育、生涯学習の司令塔の部分であるが、実践の中央公民館の部分と一緒にすることでスピードアップを図ってゆきたい。</p> <p>そして、中央公民館・図書館・歴史民俗産業資料館・青少年育成センターなどの文教区域として生涯学習ネットワークの核にしたいと考えています。</p> <p>これからも幅広くご意見をいただき、地域の代表者として声を挙げていただ</p>

金子生涯学習課長	<p>くとともに、三条市の社会教育、生涯学習の推進に、より一層のご尽力、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。</p> <p>第1回目の会議であり議長が不在ですので、選出までの間、事務局の方で司会・進行をさせていただきたいと思ひます。</p> <p>それでは、自己紹介をお願いいたします。</p> <p><委員自己紹介></p> <p><職員自己紹介></p> <p>次に「議長、副議長の選出について」でございますが、まず、議長の選出をお願いしたいと思ひます。議長の選出は委員の互選により行うこととなっております。指名推薦の方法で行いたいと思ひますが、適任の方がいらっしゃいましたらお名前をお願いいたします。</p> <p><小林斉子委員が適任という声あり></p> <p><一同拍手で了承></p> <p><小林委員、議長席に移動></p>
小林議長	<p>それでは、副議長の選任に移りたいと思ひます。いかがいたしましょうか。</p> <p><阿部涼子委員が適任という声あり></p> <p><一同拍手で了承></p> <p><阿部委員、副議長席に移動></p>
金子生涯学習課長	<p>それでは、就任のご挨拶をお願いしたいと思ひます。</p>
小林議長	<p><議長就任の挨拶></p>
阿部副議長	<p><副議長就任の挨拶></p>
小林議長	<p>それでは議事に入ります。</p> <p>「議題（1）平成23年度生涯学習事業等の概要について」事務局より説明をお願いいたします。</p>
金子生涯学習課長	<p>―― 別紙「社会教育委員兼公民館運営審議会委員の役割について」説明。―― 続いて、事業の説明に入ります。</p> <p>―― 別添「平成23年度 三条市の生涯学習」を主体に、公民館事業については、資料冊子開催要項を参考にさせていただくことで説明。―― 主に以下の内容について説明。</p> <p>「表紙裏 三条市生涯学習推進計画施策体系図」 平成18年度に策定。三条市の生涯学習を進めるうえでの案内図。</p>

	<p>基本目標 ～学び合いで広がる心豊かなひとづくり～を目指す。</p> <p>「P 1 三条市市民部生涯学習課機構図」 生涯学習推進係は中央公民館と従来の生涯学習係が統合。 本庁生涯学習課は9月を目途に中央公民館へ移転。</p> <p>「P 2 生涯学習課基本方針・重点目標」 前年までの社会教育委員会議の意見が重点目標に反映されている。 重点目標で主に(2)(3)(8)(10)を説明。</p> <p>「P 3 生涯学習課事業計画」 (1)事業への取組で主に(5)(6)(9)を説明。 (2)生涯学習事業 社会教育委員会議兼公民館運営審議会(年3回)、生涯学習推進会議(年2回)成人式はH23.3.20(H22年度は延期により7月18日:海の日)に実施。近日案内状送付予定) 生涯学習ボランティア養成講座、 (3)芸術文化事業 文化芸術振興に関する懇談会、第7回三条市美術展、青少年文化振興事業、子ども読書活動推進事業 (4)文化財事業 歴史的建造物総合調査事業、ふるさと三条再発見調査事業</p> <p>「P 7 公民館運営計画」 2 重点目標を総括的に説明。</p> <p>「P 8 事業計画」 中央公民館以下内容が多いので、重点的な事業のみ説明。</p> <p>— 中央公民館、主に次の事業について説明 — (ふれあい自然体験、わんぱく大学、通学合宿、「みんなで農業」体験講座、アートサロン、教養講座、文化講座、高齢者教室、公民館芸能まつり、作品展)</p> <p>— 嵐南公民館、主に次の事業について説明 — (嵐南こども共和国、ひまわり専科、いきいきウォーキング教室、フレッシュ講座)</p> <p>— 三条東公民館、主に次の事業について説明 — (市民総合大学、はじける!サマーナイトライブ、ジャパンナイト、七夕キャンドルナイト)</p> <p>— 井栗公民館、主に次の事業について説明 — (からだいきいき講座、認知症予防講座、文集「伊久礼」)</p> <p>— 本成寺公民館、主に次の事業について説明 — (チャレンジ夏休み、体験交流会、美味しんぼクラブ)</p> <p>— 大崎公民館、主に次の事業について説明 — (大崎地区体育レクリエーション大会、体験教室、高齢者教室)</p>
--	--

	<p>—— 大島公民館、主に次の事業について説明 —— (きっず！楽しくクッキング、ことぶき学級、大島地区スポーツカーニバル)</p> <p>—— 栄公民館（農村環境改善センター）、主に次の事業について説明 —— (週末子ども教室、ふるさと歴史探訪、栄公民館展)</p> <p>—— 下田公民館、主に次の事業について説明 —— (こども体験教室、もろはし大学、下田文化祭) 森町分館は利用状況の関係から、存続について地元関係者と協議を予定。</p>
小林議長	生涯学習課・各公民館の説明を一区切りとして、質問、ご意見がありましたらお受けいたします。
小杉委員	三条市の生涯学習のP59 から指定文化財がありますが、指定年月日が昭和40年で止まり、その後平成17年からとなっていますが、このいきさつを教えてください。
金子生涯学習課長	国と県の指定文化財は指定された年月日そのものであり、市の指定文化財は合併後全て H17.5.13 に再指定し、以降、現在までの指定の状況となっております。
阿部副議長	P4、(3)芸術文化事業の文化芸術振興に関する懇談会については、現在作業がどの程度進んでいるのか、その規模なども教えてください。
小林議長	その前に関連してですが、これは芸術文化事業の中に入るのでしょうか。三条市文化振興基金の有効な活用の方策として、文化芸術振興に関する懇談会が事業名にあたるのか、事業名も含めて阿部委員の質問にも回答をお願いします。
金子生涯学習課長	会の規模としては10名の委員とし、その構成団体を詰めているところであり、要綱も策定中でございます。小林議長のご質問の件は、P3のように生涯学習事業の中でも会議の開催は従来から事業に含めているので、この件も芸術文化事業に掲載させていただきました。
小林議長	重点目標の(4)市民の主体的な文化・芸術活動や地域に根ざした伝統文化を支援するということからすれば、これが事業に入るとことは合点がゆきません。事業名を見て内容がわかりますか。文化振興基金の有効活用からすれば、事業名がこの内容では非常に無理があると思います。
金子生涯学習課長	会議であるので、事業にあたらないのではという議長のご指摘は、確かにそ

阿部副議長	<p>のとおりだと思いますが、表記する関係上、先ほどの生涯学習事業の会議との記載もありこのようにさせていただきました。</p> <p>これは、市長とのふれあいトークの時に、文化会館建設基金だったものを文化振興基金として、ハードでなくソフト面で使うということになりましたが、この使い方一番の希望は、文化財振興財団のようなものを作ってお金を積み立てたり、スポーツ審議会のように文化振興審議会のようなものを作っていただけないものかと要望をしておきました。そのあたりは今後どうなるのかもありますので、部長さんいかがなものでしょうか。</p>
宗村市民部長	<p>議長がおっしゃられる部分もあろうかと思います。懇談会につきましては、生涯学習を支える部分という位置付けの中で、進めていくこともあるのではないかと思います。事務局の中でもう一度位置付けを精査させていただきたいと思っておりますのでよろしくお願いします。</p>
小林議長	<p>何故こだわったのか、どういうことだったのかということをご理解していただければと思います。</p> <p>他にございませんようでしたら、次に進ませていただきます。次は、子育て支援課、青少年育成センター、図書館、歴史民俗産業資料館、諸橋轍次記念館の順に説明をお願いいたします。</p>
久住子育て支援課長	<p>—— 資料No.2-1「平成23年度家庭教育事業計画」について説明。 ——</p> <p>子どもの発達段階に応じ、広く、多くの保護者に対し事業を開催。 （エンジョイパパママ教室、幼児期家庭教育講座、小学校就学時家庭教育講座、中学校就学時家庭教育講座、出前講座）</p> <p>「平成23年度放課後子ども教室推進事業計画」について説明。 新規の立ち上げは無で、10ヶ校で継続実施。</p>
弥久保青少年育成センター長	<p>—— 資料No.2-2「平成23年度三条市青少年育成センター運営計画」について総括的に説明。 ——</p> <p>私のメッセージ三条市小学生大会 11月13日を12日に訂正。</p>
太向図書館長	<p>—— 「平成23年度三条市の生涯学習—P43 三条市立図書館運営計画」、資料No.5により総括的に説明。</p> <p>重点目標（1）第2次「子ども読書活動推進計画」に沿った読書活動の推進として、事業計画に子どもの読書活動推進事業を実施する。 “三条の記憶”プロジェクトの実施を歴史民俗資料館と連携し継続。</p> <p>—— 「平成23年度三条市の生涯学習—P50 歴史民俗産業資料館運営計画」、資料No.5により総括的に説明。</p>

<p>小林委員長</p>	<p>—— 「平成23年度三条市の生涯学習—P52 諸橋轍次記念館運営計画」により主に次の事業について説明。—— (諸橋轍次博士の日、漢詩入門講座、ボランティアステップアップ講座、諸橋博士遺墨展、夏休み！漢字を使った自由研究講座、第3回諸橋轍次記念漢詩大会)</p> <p>以上、事業概要の説明で何かご質問ございますか。</p>
<p>米山委員</p>	<p>子育て支援課の家庭教育事業は、青少年育成センターの事業との連携はどのようになっているのでしょうか。例えば、中学校就学時家庭教育講座と育成センターとの連携はあるのかどうか。</p>
<p>久住子育て支援課長</p>	<p>家庭教育講座につきましては、青少年育成センターではやっておりません。育成センターや図書館では子ども向けの事業です。親向けは中央公民館と私どもが連携をしているところでございます。中央公民館では、家庭教育の中でも特化したもの、少し深めていただくようなシリーズもので、社会教育という観点。子育て支援課では全保護者に子どもの発達段階に応じて、より多くの保護者に聞いていただきたいという観点での家庭教育講座です。</p>
<p>米山委員</p>	<p>子育て支援課と青少年育成センターの連携は特にはないですね。</p>
<p>久住子育て支援課長</p>	<p>育成センターは子育て支援課の所属であり、すみ分けとして、育成センターは子どもの体験交流活動を実施しています。</p>
<p>今井委員</p>	<p>資料No.2-1にある出前講座について、具体的に内容をお聞かせください。</p>
<p>久住子育て支援課長</p>	<p>子どもの栄養や健康、親子のふれあい方、家庭教育など子育てに関する内容についてお話の要請があった時、保健師などの講師が直接会場に出向いて講座を行っているものです。</p>
<p>阿部副議長</p>	<p>放課後子ども教室推進事業計画で、当初は小学校24ヶ校全部、できることから順番に置く予定と聞いていました。今年度新たな立ち上げは実施しないという説明がありましたが、その理由と今後の見通しをお聞きしたい。また、社会教育委員は教育委員会に意見が言えることになっているわけですので、機構図の上において教育委員会と生涯学習課の繋がりがわかるように表示できないのでしょうか。</p>
<p>久住子育て支援課長</p>	<p>こどもの居場所づくりとしては、放課後子どもプランからの児童クラブ、児童館などがあり、それとは別に学校を利用した放課後子ども教室などがあります。地域により児童クラブや児童館の形態も様々であることから、放課後子ども</p>

	<p>も教室の立ち上げはスムーズにいかない場合もあり、また、一ノ木戸小や二中学区など学校の改築が進んでおりますので、地域やPTAの方と協議し、新しい学校になったら進めてゆくことも考えております。今後、青少年健全育成全体の中で検討してゆく必要もあり、すぐに全ての学校には難しいですが、引き続き、子どもたちの居場所づくりは検討していきたいと考えています。</p>
阿部副議長	<p>学校の実情や地域の実情もあると思いますが、地域でのボランティアの活動が大切だと思いますので、ぜひ、外へ出て地域の実情をよく知っている人を見つけ、ボランティアの獲得もお願いしたいと思います。</p>
小林議長	<p>ぜひ、取組みへの活動をしていただきますようお願いします。 もうひとつの件は、後ほど、その他の時にお願いしたいと思います。 次に移らせていただきます。 (2) 委員の推薦についてでございます。図書館協議会委員、青少年育成センター運営委員について、この会から選出することになりますがいかがいたしましょうか。自薦、他薦どちらでもけっこうです。</p>
米山委員	<p>私の方で、図書館協議会委員をさせていただきたいと思います。</p>
杉野委員	<p>私の方で、青少年育成センター運営委員をさせていただきたいと思います。</p>
小林議長	<p>自薦ということで、図書館協議会委員には米山文子さん、青少年育成センター運営委員には杉野真司さん。ここを代表してぜひとも頑張ってくださいと思いますので、よろしくお願いたします。 次に、中越地区社会教育委員連絡協議会代議員及び新潟県社会教育委員連絡協議会理事の推薦についてですが、私が責任をもってお引き受けしたいと思います。よろしいでしょうか。 <一同拍手> それでは、次に移らせていただきます。事務局、説明をお願いいたします。</p>
金子生涯学習課長	<p>―― 資料No.3「平成23年度社会教育団体等補助金」について説明。―― 文化団体育成補助金760,000円の内訳として、三条市文化団体協会補助金694,000円、三条市民謡連盟補助金66,000円を報告。</p>
小林議長	<p>続きまして(5)社会教育委員・公民館運営審議会委員の研修についての説明をお願いします。</p>
金子生涯学習課長	<p>―― 資料No.4「平成23年度社会教育委員研修等日程」について説明。―― 関ブロ社会教育研究大会は、震災の関係で、つくば市開催で11月に変更。これは、ここで1名、出席者を決めていただきたいと思います。</p>

小林議長	<p>阿部副議長がご出席なさるということです。それ以外は、委員全員の皆様、万障差し繰ってご参加をお願いいたします。中越地区公民館研究大会は、10日までに出席報告をお願いします。</p> <p>それでは、議題（6）その他ですが、先ほどの阿部副議長のご質問にお答えしていただけますでしょうか。</p>
金子生涯学習課長	<p>教育委員会と市長との関係ですが、生涯学習課が市長部局に移ったことにより、補助執行、市長へ執行を補助してもらうという形でやっております。その中でも法律的に教育委員会が関与する部分がございます。社会教育委員、公民館運営審議会委員、図書館委員などは教育委員会が任命することとなっておりますので、教育委員会名で委嘱させていただいています。そして、それぞれの会議での委員さんの発言など、内容を教育委員会に報告することになっていきますので、教育委員会の定例会に報告し、その繋がりを保っているところでございます。そのような形での組織図となっておりますので、ご理解をお願いいたします。</p>
阿部副議長	<p>今のお話で機構のことはわかりましたが、社会教育委員は、教育委員会の会議に出席することは可能なのでしょうか。</p>
金子生涯学習課長	<p>可能だと思います。</p>
米山委員	<p>生涯学習課の重点目標に（2）の中で、「①環境」というのがありますが、公民館の事業の中にそれがあまり無いように感じられたのですが。</p>
小林議長	<p>実は、先回の公民館の運営審議会でご欠席でしたが、その時、この件についてはいろいろふれておりました。それを受けて新しい事業の中でいろいろ展開されてゆくと思いますので、それをもって、またご意見があったらお願いしたいと思います。</p> <p>事務局で、諸連絡がありましたらお願いします。</p>
金子生涯学習課長	<p>委員の皆様からは新潟県社会教育委員連絡協議会に自動的に加入していただくこととなりますが、一人500円の個人負担が求められます。後日、手続きの方よろしくをお願いいたします。</p>
小林議長	<p>以上をもちまして、本日、第1回の会議を終了いたします。</p> <p>スムーズに会も進行し、活発に意見を出していただきありがとうございました。</p>